

12 課 文体の一貫性

文章としてのまとまりを持たせるために、文体を統一するのが普通です。比較的硬い文章で使われる文法形式や語彙は、日常的な会話の中で使われるものとは異なります。
 文体=文章の種類・場面・目的によって異なる表現形式

A 硬い文章の基本

◆全体を普通体か丁寧体かどちらかに統一して書きます。

◆縮約形や会話にだけ現われる言い方は使いません。

例 × これは経済政策じゃない、っていうか、税金の無駄遣いって思ったんだよ。

○ これは経済政策ではない。というより、税金の無駄遣いだと思ったのだ。

◆助詞の省略はしません。

例 × 現場行って、故障の原因調べた。

○ 現場へ行って、故障の原因を調べた。

◆読む人を直接意識しているような書き方はしません。

・敬語 × すでにご紹介したように、今、少子化の問題は深刻である。

○ すでに述べたように、今、少子化の問題は深刻である。

・依頼表現 × この問題について改めて考えてみてください。

○ この問題について改めて考えてみてほしい・考えてみてもらいたい・

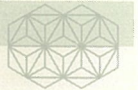
考えてみたほうがいい。

B 硬い表現と会話で使う表現

◆比較的硬い文章の中に日常会話で使う言い方が混じると、文体が統一できません。以下のような文法形式に注意しましょう。

(数字と記号は第1部の課)

意味	硬い文章で使う表現	日常会話で使う表現
たとえ	～ようだ	～みたいだ



時間関係を表す	～に際して・あたって(1) ～つつある(2)	～とき ～ている
限定する 限定しない	～のみ(F) ～のみならず(6) ～はもとより(6)	～だけ ～だけじゃなくて ～はもちろん
例示する	～など・～といった(10)	～とか
条件を表す	～であれば ～であっても ～にせよ(15)	～だったら ～だって ～にしても(15)・～にしたって
理由を表す	～ため・～によって(16) ～につき(16)	～ものだから(16)・～もので(16) ～ことだし(17)
軽く言う	～など(21)	～なんか・～なんて(21)
意見や判断を述べる	～おそれがある(22) ～まい(22)・～ではあるまいか(22) ～に相違ない(22) ～にほかならない(23)	～かもしれない ～ないんじゃない ～にきまっている(22) 絶対～だ
強くそう感じる	～ざるを得ない(25)	～なくちゃ・～なきゃ

◆語彙も文体によって使われるものが違います。同じような意味の言葉でも、硬い文章では漢字だけを使う漢語が多く使われます。

品詞	硬い文章で使う表現	日常会話で使う表現
副詞	非常に・大変・極めて わずかに 多数・大量に 徐々に・次第に	とても・すごく ちょっと・少々 いっぱい だんだん
動詞	述べる・語る	しゃべる
接続詞	しかし・だが	でも・けど
その他	このような・こうした	こんな

